

2020年12月8日

新東工業株式会社

株式会社メイキコウ

PRESS RELEASE

ANA と共同開発した国内初の空港設備 「手荷物自動積み付けロボット」システムを九州佐賀国際空港に導入しました

新東工業グループで物流機器・システムの製造・販売を手掛ける株式会社メイキコウ（本社：愛知県豊明市、保賀誠一郎社長）は、全日本空輸株式会社（以下 ANA）と共同開発した国内初の空港設備「手荷物自動積み付けロボット」のシステムを九州佐賀国際空港に導入しました。

同システムは、乗客がチェックインカウンターで預けた手荷物の約 6 割強を占めるキャリーケースを自動で荷車（バルクカート）に積み付けるシステムです。

国内初を実現した最大の特長は、高度な画像処理技術です。寸法と形状を認識し、キャリーケースだけを対象にした積み込みを実現しています。その他の段ボールケースや、お土産袋など破損しやすいもの、形状が複雑なものや乗継ぎをする手荷物、手作業での積み込みが必要なキャリーケースがある場合には、目印となるプラスチックケースをキャリーケースの前に置くことで、ロボットがスルーモードに自動で切り替えることが可能です。

また、本システムで使用するロボットについては、荷車へのハンドリングに必要なストロークを満たす吊り下げ式のロボットが世の中に無く、今回の空港設備用に合わせてロボットを独自製作したことで、同システムを実現することができました。

「手荷物自動積み付けロボット」は、ANA が目指す「空港オペレーションの Simple & Smart 化」を具現化したものです。人とロボットとの協同作業により、乗客から預かった手荷物を安全かつ効率的に積み付けを行うことができ、オペレーションの品質向上につながっています。

人の役割・働き方を“変える”、今回の取り組みは、空港業界を取り巻く環境の変化に対応する ANA の戦略でもあり、同社の行動指針にある乗客に対する「あんしん・あったか・あかるく元気」なサービスを提供する事にもつながっています。

■佐賀空港に導入した国内初の空港設備「手荷物自動積み付けロボット」



リリースに関するお問い合わせ先

新東工業株式会社
コーポレート部(広報担当)
名古屋市中村区名駅 3-28-12
webmaster@sinto.co.jp
Tel 052 582 9211 Fax 052 586 2279